

平成 27 年度第 2 回岡崎市交通政策会議 会議録

1 開催及び閉会に関する事項

平成27年 9 月 29 日（火） 10 時00分～11 時 40 分

2 開催場所

岡崎市役所西庁舎 7 階 701 号室

3 出席委員及び欠席委員の氏名

(1) 出席委員（16 名）

伊豆原	浩二	委員	（愛知工業大学 客員教授）
松本	幸正	委員	（名城大学 教授）
安達	雄彦	委員	（愛知環状鉄道(株) 運輸部管理課 課長）
近藤	博之	委員	（名鉄バス(株) 運輸部部長）
			※加藤 紀幸 運輸計画課 主任 代理出席
河口	恒徳	委員	（愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長）
古田	寛	委員	（(公社)愛知県バス協会 専務理事）
大久保	彰	委員	（愛知県交通運輸産業労働組合協議会 議長）
			※野中 寿文 幹事 代理出席
前山	敏昭	委員	（岡崎商工会議所 交通部会長）
中村	龍明	委員	（岡崎市老人クラブ連合会 会長）
加賀	時男	委員	（岡崎市障がい者福祉団体連合会 会長）
酒井	英二	委員	（岡崎市六ツ美商工会 会長）
佐野	邦明	委員	（額田地域生活交通協議会）
白木	広治	委員	（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官）
小久保	信	委員	（愛知県 振興部 交通対策課主幹）
			※山口 彩 主事 代理出席
大野	正弘	委員	（愛知県警察岡崎警察署交通課 課長）
			※佐藤 敏宏 交通課規制係 係長 代理出席
岩瀬	敏三	委員	（岡崎市 都市整備部長）

(2) 欠席委員（6 名）

酒井田	幸成	委員	（名古屋鉄道(株) 東岡崎幹事駅長）
鋤柄	徹	委員	（名鉄東部交通(株) 業務部長）
神尾	明幸	委員	（岡崎市総代会連絡協議会 会長）

山下 隆道 委員 (国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課 課長)
深津 博司 委員 (愛知県西三河建設事務所維持管理課 課長)
大竹 隆 委員 (岡崎市 副市長)

4 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

福澤 直樹 (交通政策室長)、水上 順司 (主任主査)、平松 隆 (主任専門員)、尾崎 孝幸 (主査)、成瀬 泰樹 (主事)、湯口 航平 (事務員)

5 傍聴者等

3名

6 会長挨拶

(内 容 省 略)

7 議題

(1) 岡崎市地域公共交通網形成計画について

岡崎市地域公共交通網形成計画について、資料1より説明した。

<以下、各委員の意見等>

委 員： 地域公共交通網形成計画の策定期限を平成26年度中から平成27年度中に変更した理由は、平成28年度中に策定を予定している立地適正化計画の内容と整合性を合わせるためだったと思います。そのため、立地適正化計画とまちづくりの内容を地域公共交通網形成計画にもう少し詳しく記載してもいいと思います。

事務局： 立地適正化計画の策定は平成28年度中を目標としています。地域公共交通網形成計画は、立地適正化計画の内容と整合性を合わせることを念頭に平成27年度中に地域公共交通網形成計画を一旦策定した後で、立地適正化計画の策定に合わせて、地域公共交通網形成計画を見直す予定です。

副座長： 岡崎市は交通全般の岡崎市総合交通政策がありますので、そこから公共交通の部分抜き出して地域公共交通網形成計画とするという事で良いと思います。

その中で、資料１の８ページで地域公共交通総合連携計画の施策内容、実施状況、課題等をまとめており、これを活かした地域公共交通網形成計画を策定するという事で良いと思います。

地域公共交通網形成計画で求められるまちづくりとの連携が重要だと思いますので、まちづくりとの関連についてもう少し記載すると良いと思います。東岡崎駅周辺と岡崎駅周辺で再開発の事業が進んでいますし、乙川リバーフロント整備計画もありますので、これらの事業内容を地域公共交通網形成計画に反映すると、地域公共交通網形成計画がより魅力的な計画になると思います。良い再開発の事業や整備計画があるので、これらの事業を公共交通で支えることで、まちづくりと公共交通が相互に相乗効果を生み出す格好になると思います。

また、岡崎市は、西三河地域の観光資源が多くある市です。地域公共交通網形成計画には、観光という視点も記載していただくと良いと思います。

事務局： 乙川リバーフロント整備計画などの内容を地域公共交通網形成計画に具体的に反映させた記載ができると思います。

観光の視点については、資料１の９ページの地域公共交通の役割のなかに記載しております。また、観光課が市内の観光地を巡るバスを運行しております。

副座長： 観光についてはポイントが２つあります。１点目は観光客向けに特化した観光地巡りのバスは、観光政策の一環として良いと思います。

２点目は、地域住民にとっての生活路線を観光客が利用することで持続可能な路線とすることができると思います。そのため、生活路線と観光用の路線とあえて分けて考える必要はないと思います。

その辺りも地域公共交通網形成計画に盛り込んでほしいと思います。

座長： 広域的な位置づけも考えてほしいと思います。資料１には市内の事が多く明記されていますが、市内だけではなく市周辺との関係も大切だと思います。

副座長： 長久手市の公共交通にはリニモ、民間の路線バスとコミュニティバスがあります。実は民間の路線バスもコミュニティバスもICカードが利用できるのですが、リニモだけが使えませんでした。

地域のかたがりニモでもICカードが使えるように求めたため、長久手

市は連携計画にICカードシステムの導入の検討を記載しました。

リニモ側は、当初はICカードシステムの導入は全く考えてなかったと聞いておりますが、この度ICカードシステムの導入が決まり、実現する運びとなりました。

名鉄東部交通や愛知環状鉄道にICカードシステムの導入を求める声がありましたら、地域公共交通網形成計画にICカードシステム導入の検討を記載してみてもいかがでしょうか。

事務局： 総合交通政策にもICカードシステムの導入の検討を記載しておりますので、地域公共交通網形成計画への記載も検討します。

委員： 愛知環状鉄道は全走行区間の多くが高架路線であり、この高架路線は国鉄時代に建設され竣工後40年以上経過しているため、高架橋の老朽化対策、耐震対策を重点的に推進しています。

ICカードシステム導入の要望はありますが、導入については検討中の段階です。

委員： 資料1(補足)に、交通政策会議の協議事項にまちバスの運行プランとありますが、乙川リバーフロント整備計画など、まちなか地域でのまちづくりの気運が高まっていると感じております。まちバスの役割は中心市街地の活性化ですが、新たなまちづくりの幕開けを控え、一度まちバスの役割を含めた見直しをする必要があると思いますが、どのように考えているか教えてください。

事務局： まちバスは平成19年度に実証実験から始まりまして、その後現在に至るまで、大きな見直しは行っていません。

昨年、まちバス利用者人数がのべ100万人を超え、現在は110万人を達成し中心市街地の活性化に一定の役割を果たしてきたと思います。

資料1(補足)に本年度の議題のスケジュールとして、第4回、第5回にまちバスの運行プランについて、議題として挙げています。まちバスのあり方について、今後検討を進めていきたいと考えております。

(2) 岡崎市まちなか総合交通戦略の中間評価について

岡崎市まちなか総合交通戦略の中間評価について、資料2により説明した。

<以下、各委員の意見等>

座 長： 平成 23 年度にまちなか総合交通戦略を策定しました。計画期間は平成 23 年度から平成 32 年度までです。平成 23 年度から平成 27 年度までを一つの区切りとし中間評価を行います。資料 2－2 が中間評価のまとめとなっております。

まちなかの自転車・歩行者通行量の成果目標は平成 28 年度に把握することと、CO₂排出量の削減の成果目標については正確な CO₂の排出量の把握に時間が掛かるため平成 23 年度の実績で評価を行ったことをご了承くださいたいと思います。

議題 2 について議決を図りたいと思います。

委 員： 異議なし。

(3) 公共交通に親しむ日の概要について

公共交通に親しむ日の概要について、資料 3 により説明した。

<以下、各委員の意見等>

委 員： バスの乗り方教室を通して、来場者にバスの乗り方を知っていただくことが重要です。一人でも多くのかたにバスの乗り方を知ってバスを利用していただきたいと思います。

座 長： 運行事業者のかたには、ご協力いただき感謝しております。また、各委員におかれましては、公共交通に親しむ日の周知をお願いします。

公共交通に親しむ日の 2 日間の小学生バス運賃無料については協議事項なので、議決を図ります。

委 員： 異議なし。

(4) 公共交通マップの作成について

公共交通マップの作成について、資料 4 により説明した。

<以下、各委員の意見等>

委員： 公共交通マップの媒体は紙だけではなく、インターネット等で既に
掲示されているのか、また、掲示していない場合は将来的に掲示を考
えているのか教えてください。

事務局： 現在、岡崎市交通政策室のホームページに公共交通マップのデー
タを掲示しております。

座 長： 公共交通マップを見てバスを利用できることが必要です。バスを利
用するために公共交通マップは必要だと思います。現行の公共交通マ
ップに不備な点がありましたら事務局に連絡していただきたいと思
います。今後、第3回岡崎市交通政策会議で公共交通マップの記載内
容をまとめていく予定です。

(5) その他

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の補助額について
平成26年度の生活地域公共交通確保維持改善事業の補助金の確定額について事
務局から説明

額田支所市民病院線：2,063,000 円 名鉄バス株式会社

下山地区線：1,367,000 円 豊栄交通株式会社

形埜地区線：810,000 円 株式会社西三交通

宮崎地区線：1,868,000 円 岡東運輸株式会社

豊富・夏山地区線：468,000 円 岡東運輸株式会社

全路線とも申請額に対して満額で、国から各路線の運行事業者に交付済み

8 連絡事項

次回会議を11月中旬～12月上旬頃に予定

－ 会 議 終 了 －